

# 改訂新版 よくわかる 2 級ボイラ技士 重要事項と問題

## 法改正に伴う変更のお知らせ

「ボイラー及び圧力容器安全規則」の一部改正（2023 年 12 月 18 日公布・施行）が行われました。

この改正前は、電気ボイラーの伝熱面積の算定方法は、電力設備容量 20kW を  $1\text{m}^2$  とみなして、その最大電力設備容量を換算した面積をもって算定するものとされていましたが（「ボイラー及び圧力容器安全規則」第 2 条第 4 号）、法改正により、この換算に用いる電力設備容量が 60kW に変更されました。

この法改正により、本書の下記箇所に変更がございますので、お知らせいたします。

2011 年 6 月 10 日改訂第 1 版第 1 刷発行

2012 年 12 月 20 日改訂第 1 版第 2 刷発行

2017 年 4 月 21 日改訂第 1 版第 3 刷発行

コード：21305

作成日：2025 年 2 月 10 日

箇所	誤	正
39 ページ 2 行目	電力 20kW を伝熱面積 $1\text{m}^2$ とみなす。	電力 60kW を伝熱面積 $1\text{m}^2$ とみなす。
39 ページ 5 行目	[例] 60kW であれば、伝熱面積 $HS = \frac{60\text{kw}}{20\text{kw}} \dots$	[例] 180kW であれば、伝熱面積 $HS = \frac{180\text{kw}}{60\text{kw}} \dots$
39 ページ 6 行目	10kW であれば、伝熱面積 $HS = \frac{10\text{kw}}{20\text{kw}} \dots$	30kW であれば、伝熱面積 $HS = \frac{30\text{kw}}{60\text{kw}} \dots$
48 ページ 20 行目	E. 電気ボイラー (40kW) …	E. 電気ボイラー (120kW) …
48 ページ 25 行目	・電気ボイラー (20kW) = $1\text{m}^2$	・電気ボイラー (60kW) = $1\text{m}^2$
48 ページ 26 行目	$\dots \times \frac{1}{2} + \frac{40\text{kw}}{20\text{kw}} \times 3$ 台	$\dots \times \frac{1}{2} + \frac{120\text{kw}}{60\text{kw}} \times 3$ 台
174 ページ 問 35 (2)	(2) 最大電力設備容量 40kW の電気ボイラー	(2) 最大電力設備容量 120kW の電気ボイラー
202 ページ問 34 解説 13 行目	・電気ボイラー …… 20kW = $1\text{m}^2$ とし	・電気ボイラー …… 60kW = $1\text{m}^2$ とし
252 ページ問 35 解説 12 行目	$HS = \frac{40\text{kw}}{20\text{kw}} = 2\text{m}^2$ となる。	$HS = \frac{120\text{kw}}{60\text{kw}} = 2\text{m}^2$ となる。